

経営比較分析表（平成30年度決算）

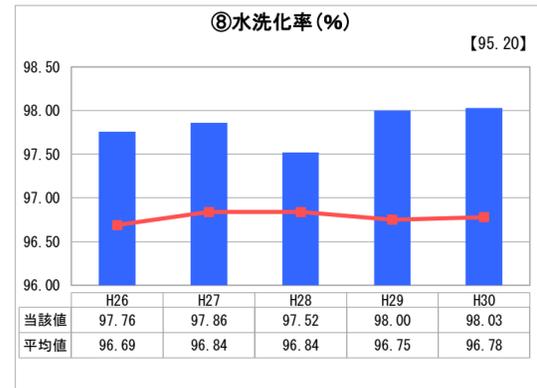
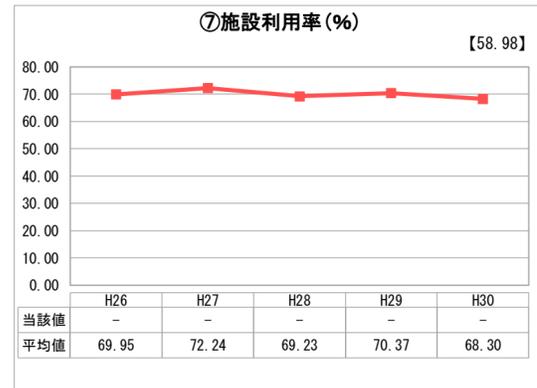
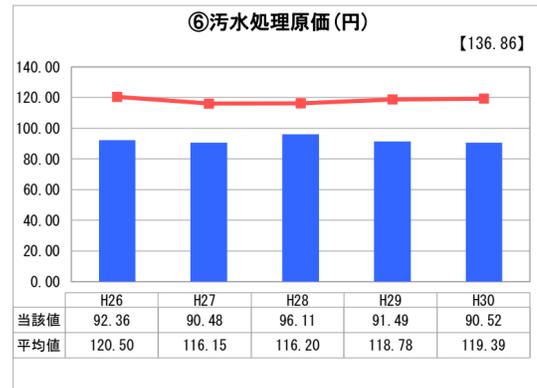
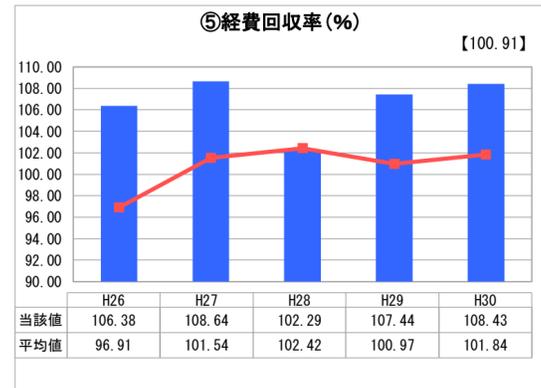
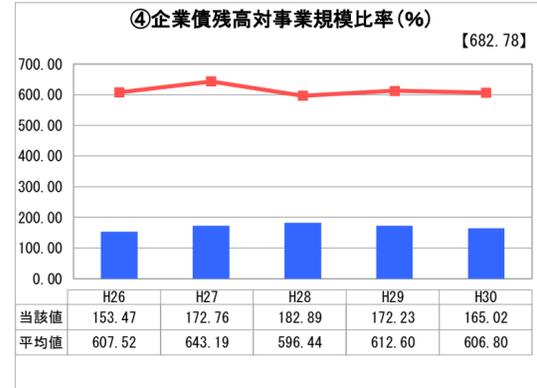
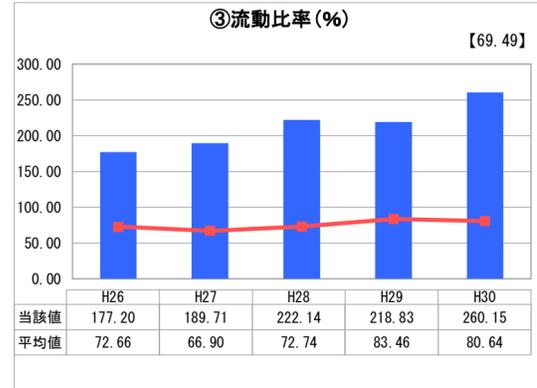
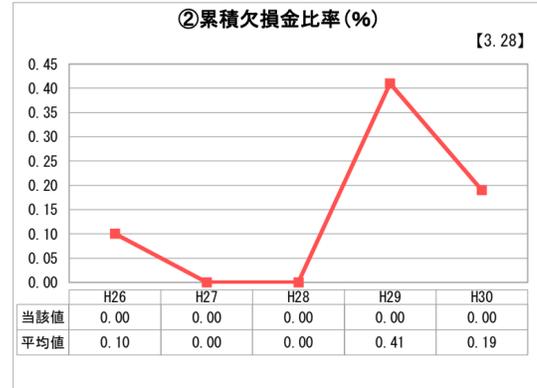
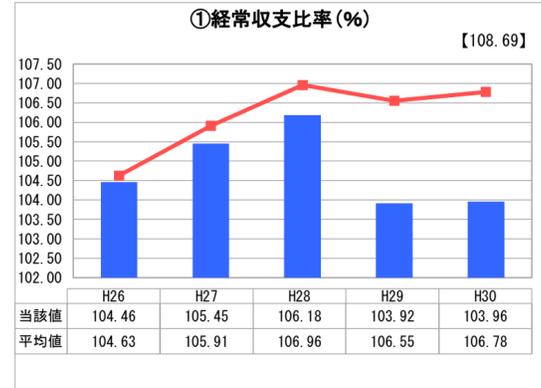
埼玉県 川越市

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法適用 | 下水道事業 | 公共下水道 | Ab | 自治体職員 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 78.50 | 88.00 | 73.52 | 1,566 |

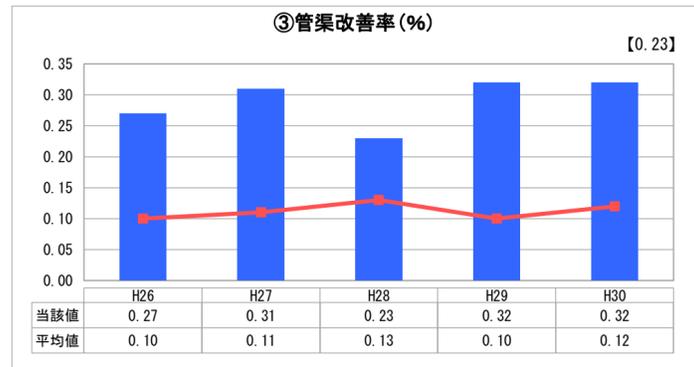
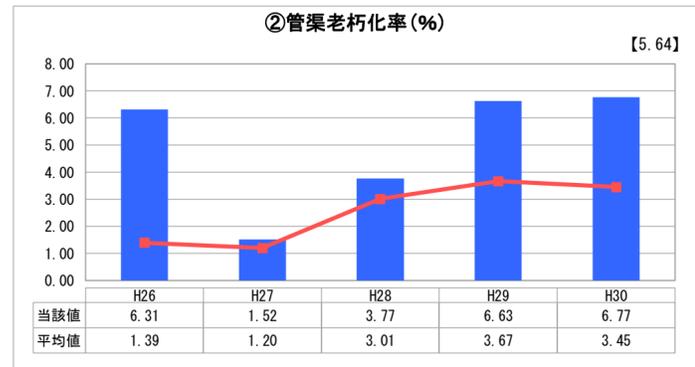
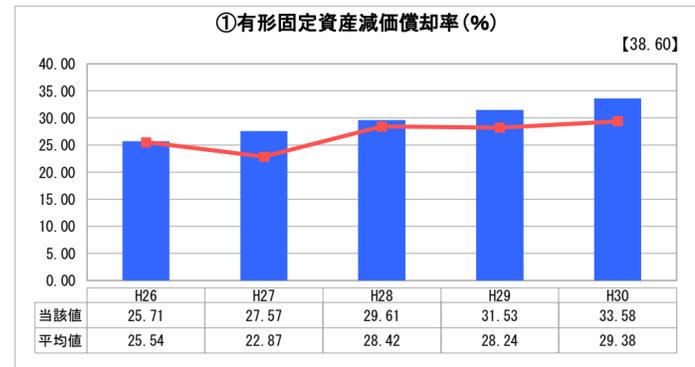
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 353,115 | 109.13 | 3,235.73 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 310,701 | 37.90 | 8,197.92 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値(当該値) |
| — | 類似団体平均値(平均値) |
| 【 | 平成30年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
100%以上で黒字であるものの、類似団体平均を下回る水準で推移しています。
- ② 流動比率
100%を大きく上回っており、短期的な支払能力に問題ありません。類似団体平均を上回る水準で推移しています。
- ③ 企業債残高対事業規模比率
類似団体平均よりも低く将来の負担は少なくなっていますが、必要な更新が適切に実施できているかについての検証が必要です。
- ④ 経費回収率
100%を上回り、汚水処理に係る費用を使用料収入で賄うことができている。類似団体平均を上回っており、適正な使用料が確保できています。
- ⑤ 汚水処理原価
類似団体平均と比べて低く抑えられています。埼玉県の流域下水道へ支払う処理費用がスケールメリットにより安価であることが大きな要因ですが、費用削減のために不明水対策等を進めていく必要があります。
- ⑥ 水洗化率
類似団体平均を上回っており、良好な数値となっています。引き続き普及を促進する必要があります。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
類似団体平均を上回っており、かつ、数値は上昇傾向です。施設全体の老朽化が進みつつあります。
- ② 管渠老朽化率
類似団体平均を上回っており、今後も老朽化率が高くなっていくことが見込まれるため、計画的に更新や更生を進めていく必要があります。
※H27決算から「法定耐用年数を超えた管渠延長」は更新延長を除いた延長に改めたため、数値が低下しています。
- ③ 管渠改善率
類似団体平均と比べて高い水準ですが、老朽化が進行していくことも見込まれるため、積極的な取組が必要です。老朽管の状態を把握し、必要に応じて改善ができるよう、計画的、効果的な調査・解析を進める必要があります。

全体総括

全体的に経営の健全性は保たれており、類似団体平均と比べて経営状況はおおむね良好であるといえます。
課題としては、管路や保有資産の老朽化が進んでいることが挙げられます。資産を健全に保つため、点検・調査の実施により中長期の改築費用を見込むことが重要です。また、有収率を向上させるため、有効な不明水対策を検討する必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。